

ネイチャーゲームで自然体験！

突然ですが、皆さんは『自然体験』と聞いて、どのような体験が浮かびますか？

私は、幼少期に毎年友人家族と行っていた奥多摩のキャンプがとても印象に残っています。川で魚をつかみ採りしたり、昆虫採集をしたり、みんなでカレー作りをして、ログハウスで寝泊まり・・・今でも大切な思い出です。

キャンプでないにしても、私が幼少期の頃は、放課後や休日には公園で木登りをしたり、早朝から昆虫採集をしたりと、とにかく自然に触れる機会が多くありました。

その中で、友人とのコミュニケーションや運動能力、探求心、思考力などが養われてきた、と感じています。

しかし近年では、遊び場の減少、習い事や塾の増加、you tube やスマートフォンの普及により、自然に触れる機会は減ってきています。

それに伴い、本来自然体験を通して獲得するはずだった力を、獲得出来ずに育つ子どもが増えてきているように感じます。

では、今この時代で自然体験をすることは難しいのでしょうか？

答えは、「いいえ」です。

特別な場所に行かなくても**自然は常に身近にあり、私達大人が「自然と子どもをつなぐ」ことで、自然体験をすることが出来ます。**

園では、子どもが自然を体験できるプログラム『ネイチャーゲーム』を取り入れています。

【ネイチャーゲームの効果】

- ・自然や環境への理解が深まります
- ・五感によるさまざまな自然体験が得られます
- ・自然の美しさや面白さを発見できます
- ・他者への思いやりや生命を大切にする心が育ちます



『音いくつ』・・・目をつぶってどんな音が聞こえるかを数えながら、わずかな音の違いを感じわかる。

自然の静寂に気付く。

『フィールドビンゴ』・・・カードに書いてある項目を、五感を使って探す。

などのプログラムを子ども達と行っています。

「昔と比べ、現代は自然が減った」と言われますが、このように遊び方を少し工夫するだけで、身近な場所でも自然体験を味わうことができます。

次回のコラムではプログラムをいくつかご紹介します！

(中野)

自然音：

きいろのはっぱ	ざらざらするもの	とんぼ	かぜのおと
ちょうちょ	ちくちくのはっぱ	きにだきつく	いいにおいのするもの
とり	とりのなきごえ	くものす	むしのこえ
おおきな はっぱ	ハートの かたち	つるつるの はっぱ	おきにいりの はっぱ